

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 木村 昌司

事業名	一般国道474号三遠南信自動車道飯喬道路		事業区分	一般国道 高規格B	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：長野県飯田市山本 至：長野県下伊那郡喬木村氏兼				延長	22.1km
事業概要	飯喬道路は、広域的な交流促進、三遠南信地域の連携強化さらには高規格幹線道路網の信頼性向上等を目的として計画された一般国道474号三遠南信自動車道のうち、長野県飯田市から下伊那郡喬木村間を連絡する区間に位置する延長22.1kmの自動車専用道路です。					
H4年度事業化	H 年度都市計画決定	H7年度用地着手	H10年度工事着手			
全体事業費	約1,400億円	事業進捗率	62%	供用済延長	0km	
計画交通量	17,600台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9  (残事業) 3.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 594/1,094億円 (事業費：518/1,018億円) 維持管理費：76/76億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 2,132/2,132億円 (走行時間短縮便益：1902/1902億円) 走行費用減少便益：186/186億円 交通事故減少便益：44/44億円	基準年 平成18年		
事業の効果等	安全で安心できる暮らしの確保〔高齢化の著しい飯伊地域において、第3次救急医療施設（昭和伊那病院）への60分圏域が拡大し、高度救急医療環境の大幅な改善が見込まれる。〕 他7項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	飯喬道路は、地域交流の促進に重要な役割を果たすことが期待されており、飯田市をはじめとする関係8市42町村の首長で構成される三遠南信道路期成同盟会より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯伊地域の市町村の30%は高齢化率が全国平均の2倍を超えている。</li> <li>高齢化率が進展する一方で病院、診療所が減少を続けており、医療体制において深刻な状況にある。</li> </ul>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収率56%。第1工区については改良工事を実施中、第2工区は早期の工事着手に向け用地買収を実施中であり第3工区は用地買収に向け、路線設計、環境調査などを実施中である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	第1工区について平成19年度に暫定2車線にて供用予定である。					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工中の第1工区は道路の構造変更、ICの簡素化などを実施。</li> <li>第2・第3工区は整備方針を見直し柔軟な構造と線形を選定しコスト縮減を図っている。</li> </ul>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。